

自治体ワンチーム

ラグビーとの地域協創を推進する
自治体連携協議会

中期活動方針（2025-2028）

2025年3月策定

1 はじめに

ラグビーの応援・発展を志す全国の自治体で構成する本協議会は、2020年3月に設立し、（公財）日本ラグビーフットボール協会（以下「JRFU」という）及び（一社）ジャパンラグビーリーグワン（以下「JRLO」という）と連携して、日本全国におけるラグビーの発展に向けた活動を推進しています。

本協議会は、JRFU及びJRLOに寄り添って取り組んでいくとともに、加盟自治体のラグビーに係る施策へのサポートをするため、ここに今後4年間の中期活動方針を策定しました。

今回の活動方針では、「地域での持続可能な活動に向けて」を重点テーマとし、活動理念である「ラグビーが世界一身近にある“まち”へ」の実現に向けて、また、「ラグビーワールドカップ日本再招致」に向けて、JRFUとスクラムを組んで取り組んでまいります。

本中期活動方針の基、また2025年3月に策定されるJRFU中期戦略計画の内容も踏まえ、JRFUとも連携して、様々な施策を進めてまいります。



自治体ワンチーム

2 自治体ワンチーム活動理念 等

<活動理念>

ラグビーが世界一身近にある“まち”へ

～日本におけるラグビー人気定着を図り、将来的にはラグビーワールドカップの再招致等を見据えた機運を醸成する～

<活動目的>

1. ラグビーの普及、振興
2. ラグビーを行う環境の整備促進
3. ラグビーを契機とした地域振興、まちづくりの促進
4. 青少年・社会教育活動の促進

※自治体ワンチーム設立趣意書より（令和2年3月10日）



自治体ワンチーム

JRFU中期戦略計画2025-2028（抜粋）

地域を主体としたラグビーのエコシステム整備



地域主体の活動が持続可能なものとなるように、都道府県協会と自治体をはじめとするステークホルダーとの連携強化に取り組み、環境・仕組み・体制を整備する必要がある。

【JRFUが掲げる関連KPI】

自治体と都道府県協会との連携事業の事例数：毎年47件

自治体ワンチーム加盟自治体：全都道府県の加盟

ラグビーワールドカップ再招致を意識した中期戦略計画2025-2028



JRFUの新たな中期戦略計画の計画期間となる2025-2028中にラグビーワールドカップ「2035/2037」「2039/2041」の大会開催国が決定される可能性が高く、大会開催に向けた基盤づくりが必要となる。

自治体ワンチーム中期活動方針2025-2028

「自治体ワンチーム中期活動方針2021-2024の振返り」及び「JRFU中期戦略計画2025-2028」の内容を踏まえ、自治体ワンチーム中期活動方針2025-2028を次のとおりとする

地域での持続可能な活動へ

RWC再招致へ向けた基盤づくりへの協力

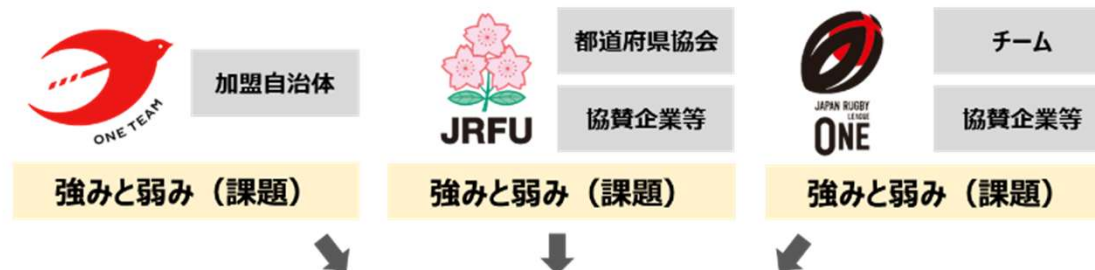
未就学児プログラム「Canterbury Rugby Little Playfield」

©JRFU 2023

① 地域での持続可能な活動へ

各地域の“ラグビー資源”と連携した取組の推進・支援、事業の横展開

- ▶ 都道府県ラグビー協会をはじめとした地域ラグビー人材、資源と連携し、地域でのラグビー普及の活性化や**持続可能な**事業を進めていく。
- ▶ 加盟自治体が抱える課題に応じた解決策、支援策を各自治体間で提供、共有していくことで、地域のラグビー普及育成事業を共に支えていく



“ラグビー”を通じた「地域課題の解決」、「新たな価値の創造」

ラグビーが世界一身近にある“まち”へ

～日本におけるラグビー人気定着を図り、将来的にはラグビーワールドカップの再招致等を見据えた機運を醸成する～

取組のイメージ

自治体



明日をひらく都市
OPEN X PIONEER

推進したい取組

- ・スポーツを通じた健康増進、青少年の健全育成
- ・子どもの体力・運動能力向上

強み

- ・市立保育園、小学校を保有

×

都道府県協会



推進したい取組

- ・競技人口の増加
- ・新規ラグビーファンの獲得

強み

- ・豊富なラグビー人材、資産を保有

=

保育園・小学校訪問事業 市⇒県協会に委託



小さな頃から
“楕円球”
が身近な存在に

② RWC再招致へ向けた基盤づくりへの協力

JRFUと連携し、ラグビーワールドカップ再招致へ向けた基盤づくりに取り組む

- ▶ ラグビー界が重視する視点を踏まえた事業を、加盟自治体が進めていくことにより、ラグビーワールドカップ
招致へ向けた基盤づくりへ協力する。

「Japan Rugby “ARIGATO” レセプション」

- ・ 日程：2023年10月23日（月）
- ・ 会場：駐仏日本国大使公邸
- ・ 出席者：109名

RWC2019開催の御礼、RWC再招致への意気込みを伝えることを目的にRWC2023期間中に駐仏日本国大使公邸にて、JRFU及び在仏日本国大使館により開催。

ワールドラグビーをはじめ、世界のラグビー関係者等が参加。

JRFUからの依頼を受け、自治体ワンチームからは、会長及び幹事長代理が参加。

自治体ワンチーム会長として、2019大会レガシーとして設立された「自治体ワンチーム」の活動やRWC開催による効果等をスピーチ。



〈Japan Rugby “ARIGATO” レセプションの様子〉



～「女子ラグビーの普及・発展」につながる取り組み～

JRFU「女子ラグビー中長期戦略計画」の基、全国各地での女子ラグビーの普及・発展、“ラグビー”を通じた、女性の活躍促進に向けた取組を推進。



〈東京都 “TOKYO RUGBY WOMEN'S DAY”女子ラグビー体験会の様子〉

～「環境サステナビリティ」につながる取り組み～

JRFU「環境サステナビリティ推進宣言」の趣旨に賛同し、“ラグビー”と連携した、環境保全につながる取り組みや、環境問題について考えるきっかけづくりを推進。



〈世田谷区 x リコーブラックラムズ東京 フードドライブ推進活動の様子〉